

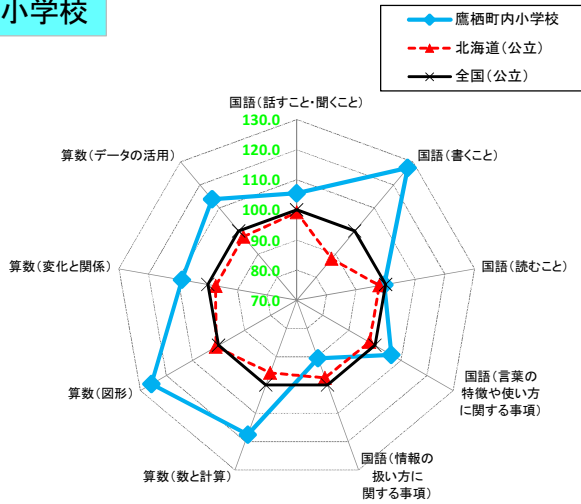
■鷹栖町内の状況及び学力向上策（小学校数:2校、児童数:47人）（中学校数:1校、生徒数:56人）

【教科全体の状況】

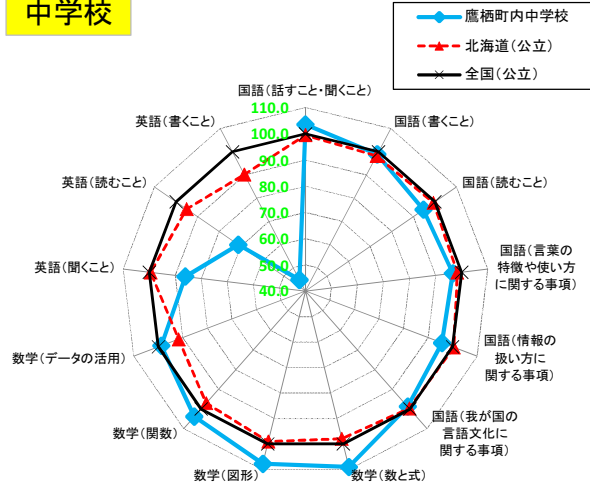
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

平均正答率	小学校	中学校
国語	69	68
算数・数学	73	54
英語	-	34

小学校

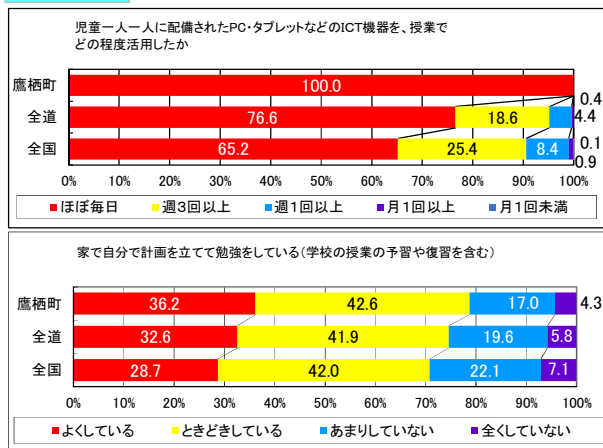


中学校

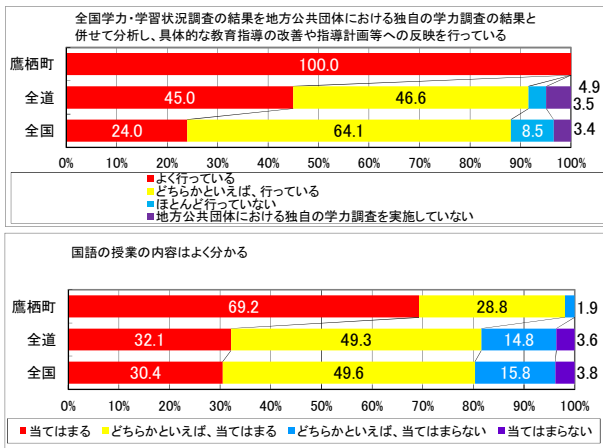


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

1人1台端末の活用に関する研修を行うとともに、授業における活用を推進したことにより、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善が促進され、国語の3領域1事項、算数の全領域で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

前年度の児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしたことにより、児童の家庭学習に対する意欲が向上し、家で自分で計画を立てて勉強していると回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行ったことにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が促進され、数学の3領域で全国及び全道の平均正答率を上回ったと考えられる。

国語の授業において、自分の考えを分かりやすく伝えるために効果的な話し方を工夫することができるような指導や、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行ったことにより、学習内容の理解が深まり、国語の授業の内容はよく分かるという回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【鷹栖町の学力向上策】

- ◎ 放課後や休日等における学習機会の提供や習熟度別指導の充実
- ◎ 英語教育の充実を図る小・中学校の連携
- ◎ 1人1台端末の活用に向けた研修の実施及び学習支援ソフトや電子黒板等を効果的に活用した学習活動の推進

【Webページ】



(R5.11掲載予定)